

宇都宮市
男女共同参画
情報誌

ぱーとなーしいぷ



相談
待って
います



特集 コロナ下での女性の困難 つながる相談支援の輪

●輝く女性の紹介 ●きらり大賞受賞の取組紹介

2022 Vol 38

COVID-19

就業面

- ・雇用情勢の悪化(特に女性に厳しい)
- ・ひとり親世帯の窮状
- ・コロナ下でストレスを感じやすい仕事
- ・学校の休校等による影響

生活面

- ・DV相談性犯罪、性暴力件数の増加
- ・女性の自殺者の増加
- ・家事等の分担状況(女性>男性)
- ・心理状況, 満足度の状況(女性の不安増)

コロナ下の影響



コロナ下において、女性への影響が大きい背景の一つは、飲食・宿泊業等で女性の非正規雇用が多いということが考えられています。

まん延防止等重点措置の実施によるステイホームや在宅ワーク、学校休校等は、サービス業に大きな影響を及ぼしたことから、非正規雇用労働者を中心に雇用情勢が急速に悪化しました。

同時に、これまで見過ごされてきたこと、潜在的にあったものの表面化してこなかった諸問題、例えば、経済的・精神的DV・ひとり親世帯、女性・女兒の窮状、女性の貧困が、私たちの向き合うべき課題として社会に共有されました。

コロナ下で、困難を抱える女性

コロナの拡大が女性に深刻な影響

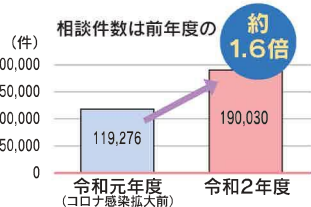
女性非正規雇用者数が大幅に減少



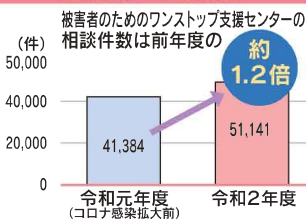
女性の自殺が大幅に増加

	令和元年合計	令和2年合計
合計	20,169人	21,081人 (+912)
男性	14,078	14,055 (▲23)
女性	6,091	7,026 (+935)

DV(配偶者暴力)



性犯罪・性暴力



内閣府「男女共同参画白書」より

宇都宮市女性相談所の取組

令和3年6月から済生会宇都宮病院に委託をし、「つながりサポート女性支援事業」を開始しました。

市女性相談所における相談強化

相談窓口の更なる周知や、生理用品の提供をきっかけとした相談支援の開始

小中学校との連携

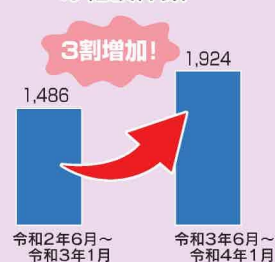
市立小中学校保健室や女子トイレへの生理用品配置や、スクールソーシャルワーカーと連携による児童生徒の家族に対する支援の

NPO等の相談支援の強化

生理用品の提供をきっかけとした常設窓口相談や電話相談の実施や、市民の生活圏域に向いた臨時相談の実施

市民に身近なところで、変化に気づき相談に応じることができる支援人材を養成するための女性相談に必要な知識を学ぶ講座の開催 など

宇都宮市女性相談所の相談件数



事業を開始してからの相談件数は、前年度同時期から約3割増加しています。

これまで見過ごされてきた、相談につながらなかった不安・困りごとなど日常的に女性が抱える諸問題が、顕在化し相談につながったとみられています。

相談した方の声

コロナの拡大による自粛で、勤務日数が減り、収入も減りました。子どもにお金がかかる時期で、ひとり親ということもあり、将来に不安があり、相談しました。

相談員さんは、親身になりお話しを聞いてくれ、市の給付金などの制度を教えていただいたことで、利用できるものがあり、とても助かりました。

33歳／ひとりの親の女性



テレワークや外出自粛、休校等により、家族みんなが、家にいるようになり、私の家事・育児の負担が今まで以上に増えました。

相談員さんから、がんばりすぎずに、家族でコミュニケーションをとって、分担について考えてみたらどうかとお話しいただいたことで、解決の糸口がみえてきました。

39歳／共働きの女性



夫からお金の使い方や私の行動を細かくチェックされます。また、夕飯に買ってきたお惣菜をだすと「暇なんだからきちんと夕飯を作れ」と言われます。こんな毎日で心が休まらず、相談させてもらいました。

話しをするなかで「今までつらかったんですね。」と言っていただけ気が楽になりました。

45歳／専業主婦の女性



外出自粛により、家に籠ってばかりで、人と交流することがなくなり、孤立・孤独感が強くなっています。

またこの年代になったからでしょうか。心身ともに不調がでてきてしまっていて…。そんなときに、相談員さんとお話してできることにより、心が軽くなりました。

67歳／一人暮らしの女性



新型コロナウイルスの感染拡大は、男女に異なる影響を及ぼしており、その根底には、平時においてジェンダー平等・男女共同参画が進んでいなかった等があり、それらがコロナの影響により顕在化されました。

困難な状況にある女性の背景や事情に丁寧に向き合い、きめの細かい寄り添った相談支援の充実が必要です。

みなさんの身近には次ページのような相談場所があります。どんな小さな悩みでもご相談ください。





生理用品のお渡しもしています。

相談無料
秘密厳守

女性部 つながりサポート

つなサポ相談室

最新情報はこのサイトでチェック⇒

宇都宮市は、NPOなど各種団体と連携して、生理用品の提供をきっかけとした女性への相談支援を図る事業として、「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」を済生会宇都宮病院に委託をし、実施しています。

市内各所に相談窓口を開設しているので、お気軽にご相談ください。

つながりサポート女性支援事業協力団体 (R4.1現在)

宇都宮市ではNPOなど各種団体を連携し、相談を窓口を開設しています。

福祉

- 33 宇都宮市社会福祉協議会 自立相談支援窓口
宇都宮市中央1-1-15
TEL 028-612-6668
- 34 栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センターポラリス★とちぎ
栃木県宇都宮市下戸祭2-3-3
TEL 028-643-3422
- 35 フードバンクうつのみや
宇都宮市埴 2-5-1 共生ビル1階
TEL 028-622-0021
- 36 地域包括支援センター さくら
宇都宮市西2-1-7
TEL 028-610-7370
- 37 地域包括支援センター 細谷・宝木
宇都宮市細谷町486-7
TEL 028-902-4170
- 38 地域包括支援センター 清原
宇都宮市鎌山町1983
TEL 028-667-8222
- 39 社会福祉法人大門福祉会 徳次郎デイサービスセンター
宇都宮市徳次郎町63-1
TEL 028-665-7771
- 40 富屋・篠井地域包括支援センター
宇都宮市徳次郎町65-8F
TEL 028-665-7772
- 41 城山地域包括支援センター
宇都宮市田野町666-2
TEL 0028-652-8124
- 42 KHJ とちぎベリー会
宇都宮市昭和2-3-5
TEL 028-627-6200

子ども

- 15 済生会宇都宮乳児院
宇都宮市竹林町945-1
TEL 028-626-5511
- 16 ぷらっと☆たからぎ宇都宮市 親と子どもの居場所
宇都宮市若草4丁目27番3号
TEL 028-616-8504
- 17 子ども食堂☆わいわい食堂
宇都宮市宝木町2-2563-31
TEL 028-623-1485
- 18 キッズハウス・いろどり
宇都宮市戸祭4-7-1 1
TEL 028-622-2212
- 19 社会福祉法とちぎYMCA福祉会
宇都宮市陽東3-15-27
TEL 028-612-2461
- 20 親と子の居場所&子ども食堂『みんなでごはん・Kitos』
宇都宮市鶴田町1443-15
TEL 080-8001-7728
- 21 ちゅんちゅん子ども食堂 すずめのす
宇都宮市高砂町25-15
TEL 028-601-5052
- 22 社会福祉法人大門福祉会 今泉保育園
宇都宮市中今泉3-16-37
TEL 028-636-6370
- 23 ひばり保育園
宇都宮市竹林町550-2
TEL 028-627-1316
- 24 しらとり保育園
宇都宮市岩曾町1109
TEL 028-613-6333
- 25 しらとり第二保育園
宇都宮市今泉町35-1
TEL 028-666-7361
- 26 ひばり第二保育園
宇都宮市中今泉3-28-1
TEL 028-612-5788
- 27 チャイルドラインとちぎ
TEL 0120-99-7777
- 28 児童家庭支援センター にこにこ広場
宇都宮市竹林町945-1
TEL 028-626-5511

★宇都宮市女性相談所(面談は要予約)

夫婦のこと、家庭のこと、自分の生き方など、女性のさまざまな悩みに関する相談

問い合わせ先 ☎ 028-636-5731

日 時 火曜日～土曜日 午前9時～午後5時
(第4土曜日は正午まで。祝日は休み。
月曜日が祝休日のときは、火曜日も休み)

場 所 男女共同参画推進センター「アコール」内

キッズハウス・いろどり

代表 荻野友香里さん

子どもたちに食・学び・遊び・安心できる場を届けています。
親御さんと一緒に温かいご飯を食べながら、安心してお悩みをご相談ください。





みんなの保健室

代表 渡辺 カヨ子さん
健康だけでなく、育児や家族関係の悩みことなど、無料で幅広く相談を実施してます。お気軽にお立ち寄りください。



保健

- 29 サロン みんなの保健室
宇都宮市伝馬町4-31
TEL 028-601-7005
- 30 栃木保健医療生活協同組合
宇都宮市宝木町二丁目2554-14
TEL 028-652-3714

- 31 栃木健康倶楽部
宇都宮市東今泉2丁目3-5
TEL 028-660-2525
- 32 NPO法人栃木県カウンセリング協会
宇都宮市鶴田2丁目1-8
TEL 028-647-1717

医療

- 2 宇都宮協立診療所
宇都宮市宝木町2-1016-5
TEL 028-650-7881
- 3 村井クリニック
宇都宮市宝木町1-2589
TEL 028-621-1541
- 4 栃木県保健医療生活協同組合 生協ふたば診療所
宇都宮市双葉1-13-56
TEL 028-684-6200

1 済生会宇都宮病院

問い合わせ先 ☎ 090-2705-2730
日 時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
土曜日 午前9時～正午
(第2土曜日、祝日、年末年始は除く)
場 所 宇都宮市竹林町911-1

高齢者

- 43 社会福祉法人とちぎYMCA福祉会
特別養護老人ホーム マイホームきよはら
宇都宮市鑑山町1983
TEL 028-667-9258
- 44 社会福祉法人宝生会 グループホーム・カトリア
宇都宮市星が丘1-1-28
TEL 028-650-7345
- 45 地域包括支援センター ようなん
宇都宮市陽南4-6-34
TEL 028-658-2125

若者

- 8 栃木県若年者支援機構
宇都宮市昭和2-7-5
TEL 028-678-4745
- 9 とちぎ若者サポートステーション
宇都宮市駅前通り1-5-13サエラビル3F
TEL 028-612-2341
- 10 社会福祉法人とちぎYMCA福祉会
子どもの居場所「もうひとつの家
アットホームきよはら」
宇都宮市鑑山町1983
TEL 028-667-9258
- 11 トライ東 宇都宮青少年活動センター
宇都宮市今泉町3007
TEL 028-633-3155
- 12 NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク
宇都宮市今泉町3007
TEL 028-612-1575
- 13 キーデザイン
宇都宮市鶴田町1627-14
TEL 080-1853-6296
- 14 ユースワークカレッジ
宇都宮市大谷町2003-3
TEL 028-666-0770

女性支援

- ♡ ウィメンズハウスとちぎ
住所非公開
TEL 028-621-9993
- ♡ 5 栃木いのちの電話
宇都宮市若草1-10-6
TEL 028-643-7830
- ♡ 6 ばんだのしっぽ
TEL 090-8565-7830
- ♡ 7 NPOピンクリボン
TEL 06-6962-5071

外国人

- 46 NPO法人 宇都宮市国際交流協会
宇都宮市馬場通り4-1-1
うつのみや表参道スクエア5F
TEL 028-616-1870

その他

- 49 若草ひかり食堂
宇都宮市若草4-20-7
TEL 028-612-7717
- 50 学生服リユースショップハイ☆タッチ
宇都宮市弥生2-8-10
TEL 090-2210-0751
- 51 学生服リユースショップさくらや
宇都宮市東今泉2丁目3-30
TEL 070-1579-0320
- 52 ブチマン・アンジェ
宇都宮市今泉3-12-5
TEL 090-1558-4060

地域

- 47 コミュニティサポートセンター ひかり
宇都宮市若草4-20-7
TEL 028-612-7717
- 48 いちごハートねっと
宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉
プラザ3F 栃木県社会福祉協議会 内
TEL 028-305-5515

とちぎ若者サポートステーション



厚生労働省が委託実施している『若者の就職を支援する場所』です。
15～49歳を対象に面接やセミナーを通して就職に向けたお手伝いをしています。



寄稿

生理の貧困から顕在化した 女性の健康問題とジェンダー問題

生理は、女性に起こる生理現象で、多くの女性が長い期間、この現象とつきあっていかなければいけません。

しかし、生理は人に知られないようにとタブー視される現状があり、生理に関する問題はこれまであまり顕在化されてきませんでした。

近年、「生理の貧困」という言葉が聞かれるようになってきました。これは経済的な理由で、生理用品が入手できない女性や女の子がいるという問題で、コロナ禍で顕在化されました。

経済的な理由で生理用品を購入できない

プラン・インターナショナルジャパンという団体が若い女性を対象に2021年3月に実施した調査では、回答者の3割が経済的な理由で、生理用品を購入できない、購入を躊躇したことがあると答えたとされています。

一つのナプキンを長時間使用したり、キッチンペーパー等を代用したり、生理用品がないため学校や仕事に行けない女性もいるのです。

行政の支援は？

国もようやくこの問題に目を向けるようになってきました。

内閣府の調査では、2021年7月時点で、全国で581の地方公共団体が生理の貧困にかかわる取り組みをしているそうです。

2021年7月に実施した「生理の貧困」セミナーの様子



「生理の貧困」が話題に

Gender

せんば ゆかり
仙波 由加里さん

お茶の水女子大学ジェンダー研究所
特任講師



当研究所では、日本におけるジェンダー研究の国際的研究拠点として、国際シンポジウム等の開催、学術雑誌の刊行、教育プログラムの実施、国際的学術ネットワークの構築、研究成果の発信と社会還元を推進しています。

私たちにできること

まず、私たちにできることは、生理の貧困を知り、この問題を、生理用品を必要とする人だけの問題にせず、社会全体でだれもが生きやすい社会をどうすれば作れるかを考えながら取り組むという意識を持つこと。「生理の貧困」は意識を向けるだけでも、解決への大きな一歩となります。

社会全体で「ジェンダー平等」を考えよう

生理は女性の生涯の健康と尊厳にかかわる大切なことです。社会で安心して生活し、自己実現するために必要不可欠なものといえます。「生理の貧困」の問題が、当事者だけでなく、家庭や職場、政治などさまざまな場所におけるジェンダー平等を考え、改善するきっかけになればと思います。

第15回

男女共同参画推進事業者表彰
令和2年度受賞事業者

「きらり大賞」

きらり

本市では、男女共同参画社会の実現を目指すため、男女の性別にかかわらず、個性と能力を發揮できる、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる市内事業者を称え、表彰しています。

株式会社足利銀行

- ★女性活躍推進法に基づく行動計画に掲げた目標を大幅に上回り達成
- ★女性社員のリーダー育成やマネジメント力強化研修の実施
- ★育児休職等の取得が昇級の不利とならない就業規則の改定



▲女性社員によるオンラインセミナー開催の様子

金融業

エストータルサポート株式会社

- ★女性や若者の採用に繋がる認定制度を活かした女性活躍推進
- ★有給休暇の取得数が少ない社員に対する取得のための計画書を作成し、積極的な有給休暇の取得を推進



▲女性や若手社員等が職場で働く様子

情報業

受賞企業の
取組紹介



グランディハウス株式会社

- ★女性設計士のみで構成した商品開発プロジェクトの創設
- ★再雇用希望者の登録制度の導入
- ★産前産後休業における給与支給制度や法定以上の短時間勤務制度の導入



▲女性設計士による商品開発プロジェクトの様子

建設業

HAMA TEC株式会社

- ★女性社員の管理職への積極的な登用所定外労働の免除対象者を法定の「3歳未満」から「小学校就学前まで」の子を養育する社員に拡大
- ★全社員の育児休暇や介護休暇に対する理解促進のため「仕事と介護の両立」を題材とした研修の実施及び各種休暇制度の周知



▲女性社員向けスキルアップ研修の様子

製造業

株式会社ワークエントリー 宇都宮営業所

- ★ライフイベントによりキャリアが中断しないよう「テレワーク勤務」や「兼業・副業」など、多様で柔軟な働き方の推進



▲働き方改革セミナーで講師をする様子

サービス業

Sunshine

輝く女性 Vol.10



本市では、男女共同参画社会の推進に向けて、さまざまな分野で女性のチャレンジを応援しています。男女同権やLGBT(注)などの支援を行う「アライ」として、ご活躍されている浅野里帆さんの活動の様子をインタビューしました。

(注)LGBTとは、性のあり方の中で少数派のことです。

宇都宮大学4年
セクシュアルマイノリティサークル
「にじみや」所属

浅野 里帆さん

「にじみや」の活動

- ・セクシュアルマイノリティの
宇大生の居場所として設立
- ・LGBT支援団体との情報交換
- ・LGBTについての情報発信

Q1 「にじみや」で「アライ」となったきっかけは何ですか？

A 幼少期から、「男だから」「女だから」というジェンダーの固定概念に違和感をもっていました。大学受験の論文試験対策の1テーマとして、高校の先生が「LGBT」の方が、差別や偏見を持たれ、嫌がらせを受けていると知り、助けたいと思ったのがきっかけです。

Q2 サークル活動をする中で、大変なことはありましたか？

A 活動を理解されないことや、偏見を持たれることです。相手に理解してもらうことはとても難しいので、自分自身が発信をし続けることで波及し、相手のLGBTに対する意識が少しでも変わってくれたらうれしいと思うし、一人でも分かってもらえればうれしいという気持ちで活動をしています。

Q3 今までの活動でやりがいを感じたことは何ですか？

A 当事者の方の声が身近で聞けることです。知識として、こんな困りごとを抱えていると知っていても、実際に相談を受けると本を読んだだけでは分からない悩みがあることを知り、さらに力になりたいと思います。

Q4 すべての人が性別に関係なく「自分らしく」いられるために大切なことは何だと思いますか？

A 自分の“想い”や“気持ち”を言い続けることではないでしょうか。「生きづらい。」と思うことがあるかもしれませんが、自分が過ごしやすい・生きやすい環境をつくれるのは他のだれでもなく自分だけです。

また、一方ですべての人が、自分の価値観だけでなく、相手の価値観を認めてあげられる人になってほしいと思います。

ぱーとなーしゅぷ Vol.38 [2022年3月]

編集
発行

宇都宮市 市民まちづくり部
男女共同参画課
男女共同参画推進センター「アコール」

住所 〒320-0845 宇都宮市明保野町7番1号
電話:028(636)4075 FAX:028(636)4079
E-mail:u18100201@city.utsunomiya.tochigi.jp

